

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 5 月 20 日

堺市長 殿



提出者
住 所 堺市東区石原町1丁103番地
氏 名 植田アルマイト工業株式会社
代表取締役社長 植田信夫
電話番号 072-259-2225（代）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	植田アルマイト工業株式会社 本社工場
事業場の所在地	堺市東区石原町1丁103番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 1827百万円
③従業員数	130人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	排 出 量	44 t	133 t
	（これまでに実施した取組） ・2016年度より、一般廃棄物（ビニール等）が産業廃棄物（①廃プラスチック）になり増加している。 ・2018年8月～カラー廃液（酸性）を中和処理せずに引き取れる業者（日本エコロジー㈱）を選定し、中和処理に必要な苛性ソーダ削減、液量の増加の削減を行いました。 ・2020年2月よりカラー廃液（酸性）（日本エコロジー㈱）の比率を上げ、さらに中和処理に必要な苛性ソーダを削減している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	排 出 量	500 t	100 t
	（今後実施する予定の取組） ・フィルター類の交換頻度を見直し。（廃プラスチック） ・廃プラスチック類の細かな分別（再利用可能品） ・梱包方法の見直し、鉄バンドから樹脂バンドに変更（鉄くず） ・入荷時の梱包材の再利用、木パレットの返却（木くず） ・樹脂バンドの再利用業者引取り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥（汚水）を分別し、一部自社で発生量を抑制している。 引き取り先の選定
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチックのビニールのみを分別し、再利用業者委託

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

③廃プラスチック (混合)	④廃プラスチック (旧一般ごみ)	⑤汚泥(農プラン ト行き)	⑥汚泥(スラッ ジ)(バルベック ステタノ行き)	⑦廃酸(カラー廃 液)(日本エコロ ジー行き)	⑧廃アルカリ(廃 塗料)(日本エコ ロジー行き)	⑨廃アルカリ(カ ラー、廃液)(ガ ク行き)	⑩汚泥(大東衛生 行き)	⑪廃プラスチック (イオン交換樹脂)	⑫水銀使用製品 (蛍光灯)	⑬汚泥(スラッ ジ)(ハーモニッ クス行き)	⑭木くず	⑮金属くず (乾電池)
28 t	353 t	0 t	4931 t	159 t	101 t	1102 t	0 t	2.0 t	0.1 t	2983 t	0 t	0.02 t

②計画

③廃プラスチック (混合)	④廃プラスチック (旧一般ごみ)	⑤汚泥(農プラン ト行き)	⑥汚泥(スラッ ジ)(バルベック ステタノ行き)	⑦廃酸(カラー廃 液)(日本エコロ ジー行き)	⑧廃アルカリ(廃 塗料)(日本エコ ロジー行き)	⑨廃アルカリ(カ ラー、廃液)(ガ ク行き)	⑩汚泥(大東衛生 行き)	⑪廃プラスチック (イオン交換樹脂)	⑫水銀使用製品 (蛍光灯)	⑬汚泥(スラッ ジ)(ハーモニッ クス行き)	⑭木くず	⑮金属くず (乾電池)
20 t	200 t	10 t	660 t	200 t	100 t	1000 t	2 t	5 t	0.2 t	230 t	5 t	0.1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 2020年11月2日に汚泥（株）ハーモニックス）と新規契約をし、フェニックス行きの埋立処分分を一部再利用業者に委託するようにしました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	119 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	1000 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

①廃プラスチック (混合)	②廃プラスチック (旧一般ごみ)	③汚泥 (泉プラン ト行き)	④汚泥 (スラッ ジ) (バルベック ステクノ行き)	⑤廃酸 (カラー廃 液) (日本エコロ ジー行き)	⑥廃アルカリ (腐 蝕料) (日本エコ ロジー行き)	⑦廃アルカリ (カ ラー、廃液) (サ イ行き)	⑧汚泥 (大東衛生 行き)	⑨廃プラスチック (イオン交換樹脂 類)	⑩水銀使用製品 (蛍光灯)	⑪汚泥 (スラッ ジ) (ハーモニッ クス行き)	⑫木くず	⑬金属くず (乾電池)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

①廃プラスチック (混合)	②廃プラスチック (旧一般ごみ)	③汚泥 (泉プラン ト行き)	④汚泥 (スラッ ジ) (バルベック ステクノ行き)	⑤廃酸 (カラー廃 液) (日本エコロ ジー行き)	⑥廃アルカリ (腐 蝕料) (日本エコ ロジー行き)	⑦廃アルカリ (カ ラー、廃液) (サ イ行き)	⑧汚泥 (大東衛生 行き)	⑨廃プラスチック (イオン交換樹脂 類)	⑩水銀使用製品 (蛍光灯)	⑪汚泥 (スラッ ジ) (ハーモニッ クス行き)	⑫木くず	⑬金属くず (乾電池)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

①廃プラスチック (混合)	②廃プラスチック (旧一般ごみ)	③汚泥 (泉プラン ト行き)	④汚泥 (スラッ ジ) (バルベック ステクノ行き)	⑤廃酸 (カラー廃 液) (日本エコロ ジー行き)	⑥廃アルカリ (腐 蝕料) (日本エコ ロジー行き)	⑦廃アルカリ (カ ラー、廃液) (サ イ行き)	⑧汚泥 (大東衛生 行き)	⑨廃プラスチック (イオン交換樹脂 類)	⑩水銀使用製品 (蛍光灯)	⑪汚泥 (スラッ ジ) (ハーモニッ クス行き)	⑫木くず	⑬金属くず (乾電池)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	4412 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	2669 t	0 t	0 t

②計画

①廃プラスチック (混合)	②廃プラスチック (旧一般ごみ)	③汚泥 (泉プラン ト行き)	④汚泥 (スラッ ジ) (バルベック ステクノ行き)	⑤廃酸 (カラー廃 液) (日本エコロ ジー行き)	⑥廃アルカリ (腐 蝕料) (日本エコ ロジー行き)	⑦廃アルカリ (カ ラー、廃液) (サ イ行き)	⑧汚泥 (大東衛生 行き)	⑨廃プラスチック (イオン交換樹脂 類)	⑩水銀使用製品 (蛍光灯)	⑪汚泥 (スラッ ジ)	⑫木くず	⑬金属くず (乾電池)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	6400 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	2000 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）
	全処理委託量	44 t	14 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	44 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・2020年11月2日に汚泥（髯ハーモニックス）と新規契約をし、フェニックス行きの埋立処分分を一部再利用業者に委託するようにしました。 ・令和3年（2021年）12月1日に、金属くず（乾電池）の運搬、処分業者と新規契約した。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

[illegible]

②計画

[illegible]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

[illegible]

		【目標】			②言
		産業廃棄物の種類	①汚泥（汚水）	②汚泥（スラッジ）（フェニックス行き）	③廃プラ （割合）
②計画	全処理委託量		500 t	100 t	20
	優良認定処理業者 への処理委託量		500 t	t	20
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託量		t	t	
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量		t	t	
	（今後実施する予定の取組） 2021年4月1日より、(有)共和開発を電子マニフェストに変更しました。				
※事務処理欄					

